

Fox's congruence modulo (2,1)

神大 中西康剛 (Yasutaka Nakanishi)

定義 3次元球面内の1次元結び目 (S^3, K) に対し,
 K と交わらぬ平凡な結び目ひで $\pm \frac{1}{2}$ -surgery すると新しい
結び目 (S^3, K^*) が得られる。このような結び目の変形の有限
列で、2つの結び目がうつりあうとき、これらは congruent
modulo (2,1) であるという。 $(Fox[1]$ は、surgery の係
数、 $lk(K, \theta)$ 等から congruence mod (n, g) を定義している
が、本稿では必要がないので省略する。)

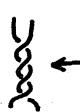
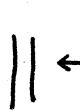
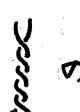
それでは 結び目の congruence class が いくつあるか
であるが、次の予想がある。

予想C 全ての結び目は、congruent modulo (2,1) で
ある。

なお、絡み輪に拡張して考えた時には、先の変形が絡み輪の成分間の絡み数を変えないことから、この予想は成り立たない。（例. Hopf-link  と 2-comp. trivial link ）

予想A,Bも列挙しておくと次の通りです。

予想B 全ての結び目は, congruent modulo $(2,2)$ である。

予想A 全ての結び目は,  \rightarrow  \rightarrow  の変形の有限列でうつりあう。

なお, $A \Rightarrow B \Rightarrow C$ の関係があるわけですが, 予想Aに対しては, 1983年10月KOKセミナーで, 特殊な 3-braid knots と 10-crossingsまでの結び目については成り立つことを示しました。

本稿では, 予想Cが 全ての 3-braid knotsについて成り立つことと, その確からしさの一面向 Alexander 多項式から照らしてみよう。

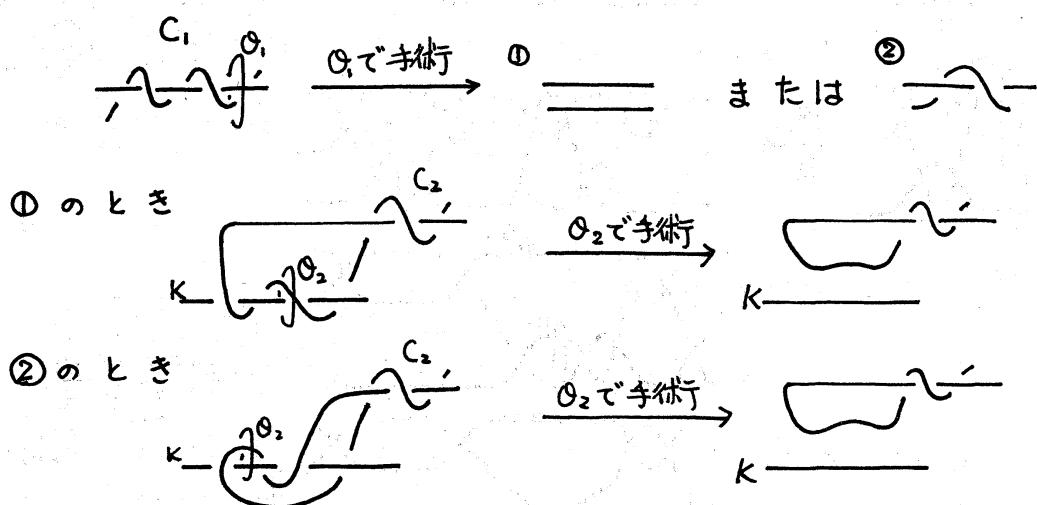
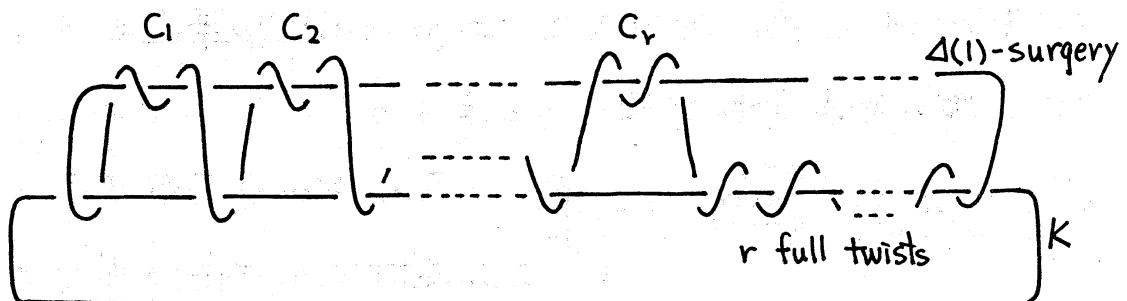
命題. $\Delta(t)$ を結び目多項式とする（すなわち, $|\Delta(1)|=1$, $\Delta(t^{-1}) = \Delta(t)$ をみたす Laurent 多項式）。この時, $\Delta(t)$ を

Alexander 多項式とする結び目 K で、平凡な結び目と congruent modulo $(2, 1)$ であるものがある。

証明概略. Levin による surgery description で、次の図で与えられる結び目 K の Alexander 多項式は

$$\Delta(t) = C_r(t^r + t^{-r}) + C_{r-1}(t^{r-1} + t^{1-r}) + \cdots + C_1(t + t^{-1}) + C_0$$

である。（図では、 $C_r = -2, \dots, C_2 = 2, C_1 = 3$ である。）

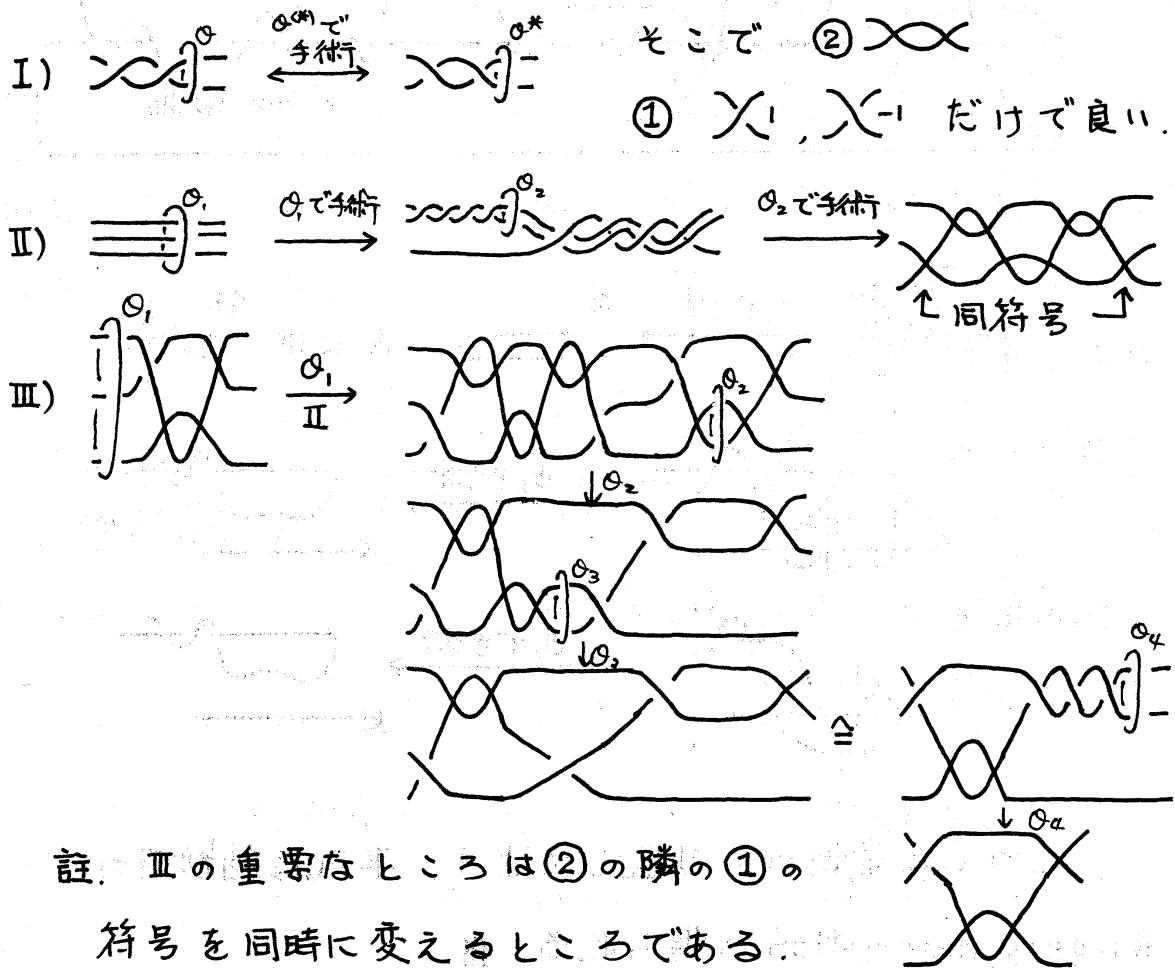


こうした変形のくり返しにより、平凡な結び目の surgery description が得られる。■

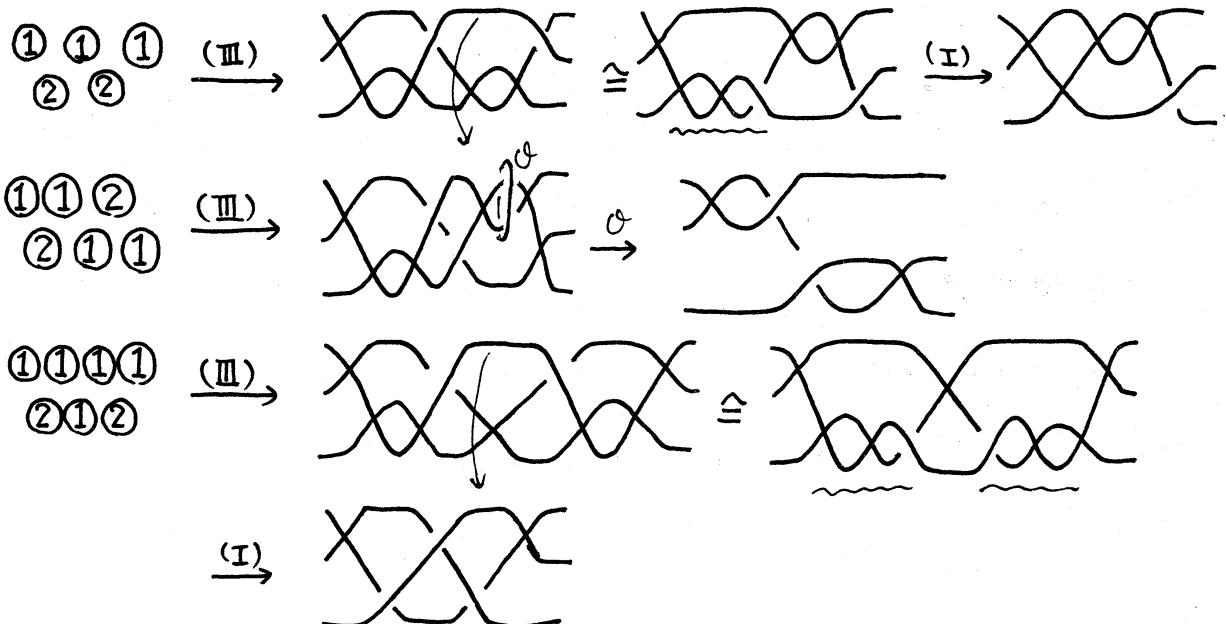
問題. $\Delta(t)$ を結び目多項式, K を結び目とする. これらをどのようにとっても, $\Delta(t)$ を結び目多項式とし, かつ, K と congruent な結び目 K^* があるか.

先の命題で, Alexander 多項式の congruence に関する障害はないと言, 无所, 作問氏より上の問題が出た. 残念ながら未解決です.

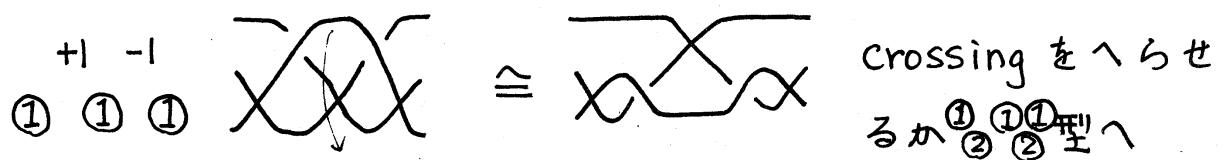
3-braid knots がすべて congruent であることを示すために, 次の基本変形 I, II, III を考える.



つまり、Iの変形で 3-braid を ①, ②だけにした後に、②が隣りあつておれば、IIIの変形で crossings を減らせる。以下、この crossing に関する induction で示す。

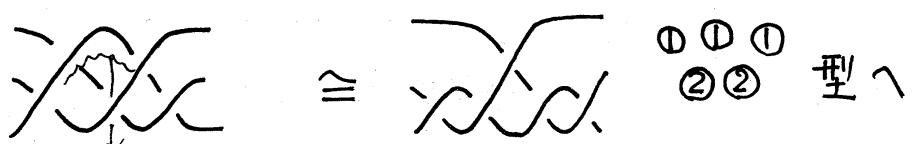


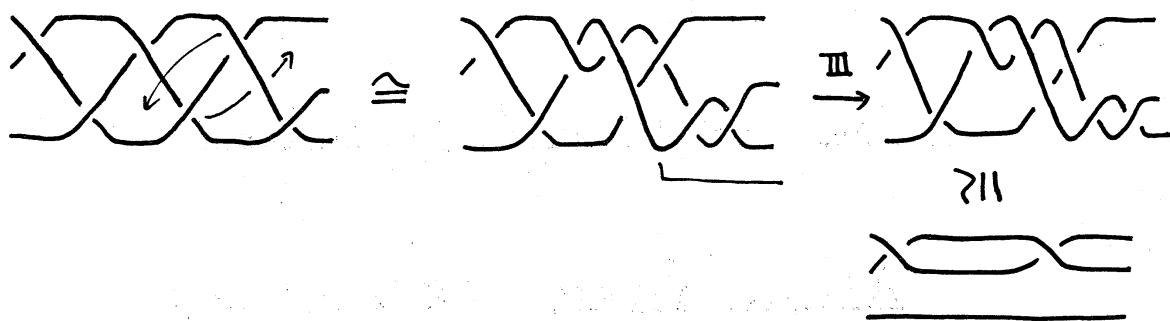
以上から、①が4個以上続くとして良い。また、②があれば、(III)を用いて次のパターンを crossings をふやさず に作れる。



故に、あと考えなくてはいけないのは次の2タイプ。

$$\begin{array}{ccccccc} +1 & +1 & +1 & +1 & \cdots & +1 & +1 \\ -1 & -1 & -1 & -1 & \cdots & +1 & +1 \end{array} \text{ と } \begin{array}{ccccccc} +1 & +1 & +1 & +1 & \cdots & +1 & +1 \\ +1 & +1 & +1 & +1 & \cdots & +1 & +1 \end{array}$$





これらの変形を施せば、10-crossings 以下にはなる。そこで、KOKセミナー（予想A）だけで、平凡な結び目に congruent であると示せる。■

参考文献

- [1] R.H.Fox "Congruent classes of knots" O.J.M. vol.10